

地域計画(案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年5月30日 ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	美浜町 (234460)
地域名 (地域内農業集落名)	野間地区 (野間)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	178.60 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	57.84 ha
② 田の面積	85.73 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	92.87 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】 ・畑地帯の整備が必要。 ・耕作しづらい土地は敬遠され、耕作放棄地になってきている。 ・担い手の高齢化 ・水田の担い手が少なく、歳が大きくなってきている。 ・利用権設定が進んでおらず、口約束が多い。 ・施設の老朽化 【課題】 ・担い手不足、確保 ・構造改善地区の維持、保全 ・水田の大区画化
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

引き続き水稻、露地野菜、施設園芸を行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
水稻、果樹、露地野菜、施設園芸区域の検討を行い、農地の集積、集約化をし農作業効率を上げる。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	13.5 %	将来の目標とする集積率	13.5 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
水稻、果樹、露地野菜、施設園芸区域の検討を行い、農地の集積、集約化をし農作業効率を上げる。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
担い手の受け入れ、育成体制を整え、中間管理機構を活用し集積、集約化を行う。	
(3)基盤整備事業への取組	
施設の老朽化、パイプラインの整備を行う。農道が狭く大型機械が入れないところもあるため整備を行う必要がある。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
野間地区以外の区域からの担い手を受け入れ、担い手を確保する。	
(5)農業協同組合等の農業サービス事業体等への農作業委託の取組	
農業支援サービスは現在利用していないため、地域全体で保全管理に努める。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☒	⑨その他		
【選択した上記の取組内容】									
①地域の鳥獣被害を把握し、防止対策を講じ、地域で被害状況や防止対策を共有していく。									
⑦引き続き草刈り等の維持管理を多面的組織で行う。									
⑨新規就農者の確保									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		ぶどう	1.4 ha		ぶどう	1.4 ha		A	
認農		花き	3 ha		花き	3 ha		B	
認農		肉用牛	63 頭		肉用牛	63 頭		C	
認農		水稻	4.5 ha		水稻	4.5 ha		D	

認農		施設花き	1.5 ha		施設花き	1.5 ha		E	
認農		酪農	55 頭		酪農	55 頭		F	
利用者		水稻	1.6 ha		水稻	1.6 ha		G	
利用者		施設野菜	0.25 ha		施設野菜	0.25 ha		H	
利用者		水稻	6.08 ha		水稻	6.08 ha		I	
利用者		水稻 みかん	0.74 ha		水稻 みかん	0.74 ha		J	
認農		きゅうり	0.17 ha		きゅうり	0.17 ha		K	
認就		ブルーベ リー	0.22 ha		ブルーベ リー	0.22 ha		L	
認農		水稻	1.5 ha		水稻	1.5 ha		M	
利用者		露地野菜	3.16 ha		露地野菜	3.16 ha		N	
計	14経営体		24.12 ha 118 頭	0 ha		24.12 ha 118 頭	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)

農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。